

八女地区大会 各部ともベストを尽くしました！

7月2日(土)、6日(水)に、八女地区大会が開催されました。大会終了後、顧問の先生方から、生徒たちの活躍・頑張りを称賛する話をたくさん聞きました。子どもたちには、ここまで部活動をつくり上げることができたことを自信にして、今後の人生に活かしてほしいと思います。

なお、各部長の「部活動を終えての思い」は次号に掲載します。

各学年、人権学習に取り組んでいます！

福岡県では、同和問題の早期解決を目指して、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、各種の啓発行事を実施し、差別をなくす取組を展開しています。

見崎中学校においても、毎年この時期に人権学習を行い、「差別をしない、させない、ゆるさない」ことを確認しています。

【1年生人権学習の様子】

7月8日(金)3、4校時の人権学習では、1年生は身のまわりの差別に関していじめ問題を考え、2年生は部落差別をはじめとするあらゆる差別について考え、3年生は統一応募用紙を通して就職差別の問題について考えました。子どもたちは真剣に授業に取り組んでいました。

また、この日の夜には、PTA 運営委員会において、PTA 人権・同和教育研修会を開催しました。

研修会では、八女市人権・同和教育課指導主事より、部落差別の歴史や現代の差別事象、差別を乗り越えるために等について講話をしていただきました。

差別のない、誰もが幸せに生きることができる社会を目指して、今後も教育活動を行っていきます。

6月に調理実習ができました！

現在、オミクロンBA5が猛威を振るい、全国の新型コロナウイルス感染症数も急増し部活動等さまざまな教育活動に制限がかかっています。

このような状況になる1ヶ月前の6月の下旬に、3年ぶりに調理実習をすることが出来ました。3年生にとっては中学校で初めての調理実習となりました。子どもたちも嬉しそうな様子で、家庭科担当も「在籍している間に一度はさせてあげたかったので、本当によかった。」と感慨深げでした。



生徒総会開催される！

6月24日（金）に生徒総会が開催されました。体育館に全校生徒が集まったの形は2年ぶりとなります。熱心な討議がくり広げられ、1年間の生徒会活動が決定されました。生徒会のスローガンは、「熱結 enjoy～みんながピース、つながれパズル～」です。生徒会執行部が考えた、このスローガンの設定理由を一部紹介します。

「サブタイトルでは、見崎中学校全体をパズルでたとえ、一人ひとりがパズルのピース、また、楽しみピースをするという二つの思いと、みんなでピースをつなげ、一つのパズルを作り上げようという思いが込められています。人には長所もあれば短所もあり、うまくピースが繋がらないときもあるかもしれません。しかし、みんなで助け合い、カバーしていくことによりつながり合います。コロナ禍で足りなくなっている人と人とのつながりを大切にしていき、一つのパズルを作り上げ、全員が熱結し、楽しめる学校にしていきたいと思います。・・・」



八女地区青少年弁論大会 すばらしい発表でした！



7月9日（土）に、八女地区青少年弁論大会が、八女文化会館で開催されました。中学校の部には八女市・筑後市・広川町の13校から各学校の代表者が1名ずつ出場しました。本校からは、3年生の さんが出場し、「私は今、無我夢中の途中」という題で立派な弁論を発表し優秀賞を獲得しました。野球を通して努力することの大切

さを知り、家族をはじめとする多くの仲間への感謝など、聴衆の方々がとても共感させられる弁論でした。

ネットモラル教育をしました！

7月13日（水）に、全校生徒対象の「ネットモラル教育」をしました。今回は、NPO法人「子どもとメディア」から講師の先生に来ていただき、1年生は対面で、2、3年生はオンラインで講話を聞きました。夏休みは様々なトラブルに巻き込まれる時期です。各ご家庭でも、お子様とネットの危険性についてぜひお話し合い下さい。



前回までの見崎校区小・中学校あり方検討委員会において、学校の校種は「義務教育学校」、位置は「見崎中学校の場所」になりました。今後、校名、校章及び校歌等が検討されていきます。